

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2 総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	4 協働型環境づくりの推進		
施策の方向性	●環境に配慮したライフスタイル、ワークスタイルの啓発を行います。 ●誰もが環境に配慮した行動を実践できるシステムづくりを推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	協働連携により取り組む環境づくりの活動数	回	目標値		80	85	90	95	100
			実績値	63	10	66	72		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3:	コロナ禍の外出自粛等の行動制限の影響により、定期的な活動が行えず目標未達成となりました。
R4:	施策目標は達成できませんでしたが、コロナ禍で活動を休止していた団体活動が再開し、コロナ禍前の水準まで回復しました。
R5:	令和5年度の施策目標は未達となりましたが、コロナ禍前の水準を上回る活動を実施することができました。
・評価及び対応方針	
R3:	ここ数年、コロナ禍の外出自粛等の行動制限の影響により、環境ボランティア活動は停滞しています。 新型コロナウイルス感染者数の動向を注視しつつ、必要な措置を講じ、順次活動を再開し、住民・事業者・行政との協働・連携体制の再強化を図ります。
R4:	多様な主体が連携・協働し、地域一体となって環境まちづくりを推進するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。
R5:	環境活動の活性化には、働く世代の参加や新たな取組みの輪を広げる必要があります。そのためには、ニーズに応じた環境情報の整備や効果的な情報発信を推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	協働型環境づくり事業	702	2,902	5,691	9,295
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		702	2,902	5,691	9,295

1. 基本情報

総合戦略

事務事業の名称	協働型環境づくり事業	事業番号	324101
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:総合的な環境対策の推進		
単位施策	4:協働型環境づくりの推進		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 脱温暖化市民協議会と連携した参加者を募るイベント活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができませんでしたが、緑のカーテンコンテストや環境家計簿を実施しました。 ○ エコドライブ講習会は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することができませんでした。 ○ ぐらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行いました。
R4	○ 第2次環境基本計画の中間見直し作業を行いました。が、年度内に完成できなかったため、来年度引き続き改定作業を行います。 ○ 脱温暖化市民協議会の活動は、3年ぶりに活動を再開することができ、地球温暖化防止の啓発活動を行いました。 ○ ぐらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行いました。
R5	○ 脱温暖化市民協議会と連携し、環境出前講座や環境イベントなどの啓発活動を実施しました。 ○ 地元企業と提携し、親子（小学校低学年対象）で楽しめる環境学習を開催しました。 ○ ぐらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行いました

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	環境関係コンテンツの閲覧数	件	目標値	116,000	123,000	131,000	138,000	145,000
			実績値	150,002	149,581	152,276		
			達成状況	達成	達成	達成		
②	第2次環境基本計画の改訂	%	目標値	-	100	-	-	-
			実績値	-	90	100		
			達成状況	-	未達成	達成		
指標の設定方法		①環境に関心を持つ人の増加と環境意識の醸成を図ることを目的としているため、町公式ホームページに掲載している環境関係コンテンツの閲覧数を指標としました。②計画改訂が目的のため、計画の改訂を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	702	0	0	0	0	702
R4	2,902	0	0	0	0	2,902
R5	5,691	0	0	0	4,597	1,094
合計	9,295	0	0	0	4,597	4,698

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:事業目標は、環境センターホームページの閲覧数が約127,000件あり目標達成となりましたが、事業自体はコロナ禍の外出自粛等の影響もあり、環境イベント活動の大半が開催できませんでした。

R4:第2次環境基本計画の改定については、令和5年3月に改訂された第3次広島県地球温暖化防止地域計画との整合性を図るため、年度内に完成することができませんでした。

R5:令和5年度には、これまでのホームページの情報を整理し、環境ポータルサイトを新たに開設しました。これにより、コンテンツの閲覧数は目標を達成するとともに、昨年度を上回ることができました。第2次環境基本計画の改定が完了しました。

・評価及び対応方針

R3:令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、必要な感染予防措置を行いながら、この数年中止となっている環境イベント活動を再開し、住民・事業者・行政との協働・連携を推進していきます。

R4:第2次環境基本計画については、令和5年度上半期中に策定するとともに、計画に位置付けられた施策を推進します。

R5:環境ポータルサイトの内容を充実させ、ニーズに応じたわかりやすい情報発信に努めます。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:コロナ禍の外出自粛等の外的要因により、ここ数年事業自体が停滞しています。

R4:広島県計画との整合性を図るため、町計画の策定作業が遅延しましたが、令和5年度上半期に完了する見込みです。コロナ禍の外出自粛等により各種活動が制限されていましたが、令和4年度は3年ぶりに活動を再開することができました。

R5:令和5年度には、これまでの情報を整理し、環境ポータルサイトを新たに開設しました。これにより、コンテンツの閲覧数は目標を達成するとともに、昨年度を上回ることができました。第2次環境基本計画の改定が完了しました。

・評価及び対応方針

R3:令和4年度からは、必要な感染症対策を講じつつ、イベント活動を再開し、住民・事業者・行政の連携強化を図っていきます。

R4:多様な主体が連携・協働し、地域一体となって環境まちづくりを推進するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。

R5:環境活動の活性化には、働く世代の参加や新たな取組みの輪を広げる必要があり、そのためにはニーズに応じた環境情報の整備や効果的な情報発信を推進します。